

消化管内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	人工知能による大腸ポリープ検出の通常内視鏡検査に対する上乗せ効果の検討
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)消化管内科 (職名)准教授 (氏名)海老正秀
試料・情報の利用目的及び利用方法	〔利用目的〕 大腸ポリープの発見における人工知能の有効性を検証することを目的としています。 〔対象となる患者さん〕 2021年8月から2023年7月までに当院で【大腸ポリープ】と診断され、当院で内視鏡的ポリープ切除術を受けた患者さん。 〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2024年3月31日 〔利用方法〕 患者さんのカルテより得られた大腸ポリープに関する情報を利用します。最初に通常大腸内視鏡検査を受けられた患者さんはポリープ切除の際には人工知能の搭載された内視鏡を用いて切除し、最初に人工知能の搭載された内視鏡を用いて診断された患者さんは、ポリープ切除の際には通常の内視鏡を用いて切除を行います。研究計画書及び研究方法は病院のホームページより入手可能です。
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：【大腸ポリープ、病理組織学的検査等】
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報	非該当

を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年12月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化管内科 担当者:(職名)准教授 (氏名)海老正秀 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23480)